

ベンチャーファンド「UTEC2 号投資事業有限責任組合」に
30 億円の出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）は、新事業開拓促進出資事業（ベンチャーファンド出資事業）において、(株)東京大学エッジキャピタル、UTEC Venture Partners(株)を無限責任組合員とする『UTEC2 号投資事業有限責任組合』に、中小機構出資分として 30 億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

本組合は、今月をもって中小機構出資分を含み 70 億円程度の規模となる見込みですが、引き続き出資者の募集を行うこととしており、ファンド総額を 100 億円程度にまで拡充していく予定です。

『UTEC2 号投資事業有限責任組合』は、東京大学発、あるいは東京大学と相乗効果のある知的財産・人材を活用する中小企業への投資を通じ、日本の技術に立脚した、国内はもとより世界へ飛躍するベンチャー企業を生み出すことを企図するものです（詳細は別紙）。

（参考）

新事業開拓促進出資事業の実績「ベンチャーファンド」（組成ベース）

ファンド総数	ファンド総額	うち機構出資額	投資先企業数	公開企業数
83	1,321.7 億円	519.7 億円	2,076 社	95 社

1) ファンド総数・ファンド総額・機構出資額・公開企業数は平成 21 年 12 月末現在の数値

2) 投資先企業数は、平成 21 年 11 月末現在の延べ数値

（本件に関するお問い合わせ先）

独立行政法人中小企業基盤整備機構 ファンド事業部
ファンド審査第一課 坂井、吉田、阪田
電話 (03)5470-1673(直通)

◆「UTEK2 号投資事業有限責任組合」の概要

- 「UTEK2 号投資事業有限責任組合」は、(株)東京大学エッジキャピタル、UTEK Venture Partners(株)(いずれも東京都文京区・郷治友孝代表取締役)を無限責任組合員として、平成 21 年 7 月に設立された投資事業有限責任組合です。
- 本組合では、創業前後や新規事業開始前後にある、東京大学などの研究機関等の技術や人材を活用するベンチャー企業を対象に、積極的な経営支援を行うリード投資を原則とするとともに、段階に応じたマイルストーン追加投資を行うことを基本投資戦略としています。

(参考)

新事業開拓促進出資事業（ベンチャーファンド）について

中小機構の新事業開拓促進出資事業は、国内の成長初期段階（アーリーステージ）にあるベンチャー企業に重点的に投資することにより、これらのベンチャー企業の資金調達を円滑化し、健全な成長発展を支援することを目的として平成10年度に開始されました。民間ベンチャーキャピタルが設立する「投資事業有限責任組合契約に関する法律」に基づくファンドへ、中小機構が出資総額の2分の1以内（地方公共団体が出資を行う場合には、地方公共団体の出資と合わせて2分の1以内）で、出資をしております。

【スキーム図】

